

【ユニット】 小児

【ユニットディレクター】

UD：松本 浩（小児科）

【一般的な目標】

成育の各時期で健常であることの評価基準，生後の健常な成長・発育に必要な条件や支援・福祉を理解するために、臓器・機能の面で成長発達を続ける小児を出生後の一連の継続の中でとらえることを学ぶ。小児に見られることの多い疾患を理解するために、それらの原因、病態、症候，治療に関する基礎的な知識を身につける。

【具体的な目標】

1. 乳幼児，学童・生徒の正常な成長発達を理解し，評価できる。
2. 正常な発育を支援するための健康診査および予防接種について説明できる。
3. 出生や育児を規定する社会的因子を概説できる。
4. 乳幼児の虐待および突然死・事故について概説できる。
5. 学校保健を理解し，生徒の健康管理と健康教育の意義を説明できる。
6. 小児の各臓器の機能発達を理解し，主たる疾患の病態と治療戦略を概説できる。

【学習方法】

講義形式で授業を行う。講義内容は、基本的事項と特に重要な疾患について病態生理を中心に行う。授業内容の確認と派生的な生理，病態を理解するために、授業内容を配布された資料と教科書で復習する。疑問な点や理解をより深めるために参考書を利用する。質問等は、授業時間に加えオフィスアワーにも受け付ける。

【評価方法】

本試験（MCQ 形式）に不合格になった場合は再試験を行う。再試験は本試験と同じ形式とし、合格基準は 65%である。

【教科書】

- ◆ 小児科学 文光堂 第10版 五十嵐隆編集

【参考書】

- ◆ 小児科学・新生児学テキスト 第5版，飯沼一字，有阪治，竹村司，渡辺博，診断と治療社
- ◆ ネルソン小児科学，第19版，江藤義勝監修，エルゼビア・ジャパン
- ◆ 小児科学（改訂10版），五十嵐隆，文光堂
- ◆ 保育者・教師のための子ども虐待防止マニュアル，奥山真紀子，ひとなる書房
- ◆ 児童虐待 ゆがんだ親子関係，池田由子，中央公論社
- ◆ APLS 小児救急学習用テキスト，Marianne Gausche-Hill 他，診断と治療社
- ◆ 写真で見る乳児検診の神経学的チェック法 第7版，前川喜平，南山堂

- ◆ 診療実践 小児神経科 - 小児神経疾患のプライマリケア(初版)鳥取大学医学部神経小児科、診断と治療社
- ◆ 現代児童青年精神医学(改訂第2版), 山崎晃資, 永井書店, ISBN978-4-8159-1905-4-C3047
- ◆ 小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2007, 日本小児呼吸器感染症診療ガイドライン作製委員会, 協和企画
- ◆ NASH 診療 Up to Date 症例に学ぶ, 石井裕正他編, 南江堂

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
小児01	08月24日	(月)	6	小児科学序論・発達	山内(小児科)
小児02	08月26日	(水)	1	児童虐待	板澤(小児科)
小児03	08月26日	(水)	2	小児科総論・小児の診察	神田(小児科)
小児04	08月26日	(水)	3	小児の体液	秋岡(小児科)
小児05	09月08日	(火)	4	小児の成長	菊池(小児科)
小児06	09月08日	(火)	5	小児の栄養	菊池(小児科)
小児07	09月10日	(木)	1	小児の呼吸器疾患	板澤(小児科)
小児08	09月10日	(木)	2	小児のアレルギー疾患	板澤(小児科)
小児09	09月10日	(木)	4	小児の予防接種	石井(小児科)
小児10	09月14日	(月)	6	医療的ケア児と支援法	是松(総セ小児科)
小児11	09月16日	(水)	1	川崎病その他の小児心疾患	小島(国セ小児心臓科)
小児12	09月24日	(木)	5	小児の内分泌疾患(下垂体・甲状腺・副腎・性腺疾患)	菊池(小児科)
小児13	09月24日	(木)	6	小児の内分泌疾患(副甲状腺・糖尿病・低血糖・肥満)	菊池(小児科)
小児14	09月28日	(月)	1	小児の精神疾患	桑原(神経精神心療内科)
小児15	10月01日	(木)	3	小児の救命救急医療	櫻井(総セ小児科)

【備考】

授業の理解を深めるためにレポートや小テストをする場合があります、提出物に対して評価を行います。